

スポーツ

かわさき

No. 30

法人化記念特集号



- 目次
- 川崎市体育協会、法人化成る ②
 - 新生！(財)川崎市体育協会とは ④
 - 3年度体育功績賞・優秀選手賞 ⑥
 - 川口市都市交歓スポーツ大会 ⑦
 - ストレッチング講座(5) ⑧
 - 第21回ろうあ者体育大会 ⑩
 - 第43回県総体夏季大会 ⑪
 - 春季市民体育大会 各地で熱戦・善戦 ⑫
 - 市政記念体育大会 ⑬
 - '92中野杯室内テニス選手権大会 ⑭
 - ボルチモア市とサッカーで交流 ⑮
 - 「スポーツかわさき」の表紙から他 ⑯

財団法人 川崎市体育協会

川崎市体育協会

設立祝賀会で市民スポーツ振

平成4年8月25日、川崎市高津区のホテルKSPにおいて、川崎市体育協会の財団法人としての設立祝賀会が開催されました。

県体育協会会長長洲一二神奈川県知事、市体育協会名誉会長高橋 清川 ↗



祝 辞

財団法人神奈川県体育協会
会長 長洲 一二

このたび、川崎市体育協会が財団法人化（県下4番目）されましたことは、貴市スポーツ界の事業・組織・財政面等あらゆる面が強化され、今後の貴協会の活動が一段と飛躍活性化する礎が確立されたことで、まことに喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

京浜工業地帯の中心都市として発展してこられた貴市には大企業が軒をつらね、有望スポーツ選手が集っておられます。勢い、実業団スポーツは格段の隆盛を示しておられます。生活に余裕ができたことと余暇の拡大により職場でのスポーツの奨励が盛んになったことが相まって、各人がスポーツをする楽しみを味わい、そしてまた「スポーツと健康」の相関的知識の発達に伴い、地域とのスポーツ交流が次第に活発化してきたことは自然の成り行きだと思います。

その時にあたり、貴市体育協会が財団法人化されましたことは、正に時宜を得たことであり、これによりスポーツ界の各方面に協力的リーダーシップを発揮して、日本一の実業団スポーツ団体と各種目競技団体、そして地域の三者が一体となった新しいスポーツ界を創設されるならば、「個人が楽しみ、地域・クラブで楽しむ」というスポーツ本来の原則を基盤としたスポーツ活動が活発化し、その底辺は無限の拡がりをしていくのではないのでしょうか。

そうなれば、より高度なレベルのエリートが自然に育成されていき、そのエリートに刺激されて

活動は一層活発化し、という良い循環が作られ、地域スポーツは更なる盛り上がりを見せ、成果は上がり、新しい国体を目指す神奈川県国体もその目的が立派に達成できるでしょう。また高年齢社会に適した「明るい、生きる喜び」のある健康社会が築かれていくでしょう。

このように、貴市体育協会の財団法人化が神奈川県スポーツ界に与える影響は、横浜と共に神奈川県を支える大都市川崎であるだけに、まことに大きいものがあります。

どうか、今後神奈川県民820万人の期待に応えられるご発展、ご活躍をなされるよう衷心より祈念いたします。

設立の趣旨と経過

川崎市体育協会は昭和23年創設以来、各種スポーツ競技団体の統括機関として各団体の参加により発展を続け、現在では加盟種目団体31団体、加盟総人員約10万名を擁するまでに成長してきました。

川崎市体育協会と川崎市は相互協力のもと、これまで川崎市内のスポーツに関する数多くの大会、行事の実施運営に携わってきましたが、この川崎市体育協会を基盤として、市民のスポーツ活動を振興し、もって心身ともに健康で明るい市民生活の形成に寄与するために法人格を取得し、名実ともに社会的信頼と責任ある団体となって自主事業を円滑に運営するべく、財団法人川崎市体育協会 ↗

の法人化成る！

興の中核となることを確認

↑ 崎市長をはじめ各方面から祝辞が寄せられ、156名の方々の出席を得、今後の当協会の川崎市におけるスポーツ振興の中核としての位置づけが盛会のうちに確認されました。

財団法人川崎市体育協会に期待する

川崎市長 高橋 清



川崎市体育協会の財団法人設立にあたり、ひとことお祝い申し上げます。

協会の長年の懸案でありました、このたびの財団法人化は協会役員をはじめ会員皆さんのスポーツに寄せる情熱とそれぞれの分野で熱心に活動してこられた努力の賜物であると思います。

今、まさに人生80年時代を迎え「豊かさの実感できる活気とゆとりある生活」の実現が大きな課題であります。本市といたしましても、「川崎新時代」の構築に向けて、「生涯福祉都市づくり」・「快適環境都市づくり」・「地域自立都市づくり」・

「創造発信都市づくり」・「市民自治都市づくり」の5つの都市づくりをかかげ新しい時代にふさわしい川崎を目指しております。

特に、今日の目覚ましい科学技術の発達と、それに伴う生活様式の変化に対応して、日常生活に於ける運動不足や精神的ストレスなどの問題の発生、更には生活水準の向上・週休5日制にみられる余暇時間の増大等を背景とし、市民の健康に対する関心とスポーツ活動に寄せる要求が益々高まり、その内容も多様化・高度化してきております。

このような状況の中で、21世紀を見通した「健康・スポーツ都市川崎」の創造に向けて現在「かわさきスポーツマスタープラン」の策定に取り組んでおります。

さらに、平成10年の神奈川県国体に向けて総合体育館の建設をはじめスポーツ施設の整備を進めてまいりますが、協会皆様方のより一層のご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の財団法人化を契機にさらに充実、発展されることを期待いたしましてお祝いのことばといたします。

↑ を設立するに至りました。

当協会は、上記法人化の準備等のため、その財源確保を目指して、昭和61年度から賛助会員制を設け、多くのスポーツ愛好者の支援を得て、今日の財団法人川崎市体育協会の発足をみるに至りました。

具体的には平成2年10月12日に体育協会法人化設立相談を行って以来14回にわたり諸手続きのための相談を経過し、平成4年5月29日に体育協会総会（設立総会）を開催、財団設立に関する決議および新役員の決定等を行い、これに基づき同6月以降設立のための諸申請を行い、7月3日に設立認可の連絡を受けました。8月法務局への登記を完了、同月25日設立祝賀会を開催しました。

新生！財団法人川崎市



設立記念祝賀会より

役員一覧

| | | |
|------|-----|-----|
| 名誉会長 | 高橋 | 清 |
| 会長 | 高雲 | 和也 |
| 副会長 | 谷口 | 恭男 |
| | 日野原 | 守 |
| | 柳川 | 三五 |
| 常務理事 | 作間 | 牧夫 |
| 理事 | 川島 | 哲男 |
| | 梅澤 | 喜由 |
| | 岡崎 | 彦雄 |
| | 古谷 | 保 |
| | 引田 | 満男 |
| | 上野 | 富夫 |
| | 櫻井 | 定吉 |
| | 左澤 | 重明 |
| | 長谷川 | 武雄 |
| | 古川 | 幸一 |
| | 吉岡 | 幹雄 |
| | 野崎 | 房江 |
| | 大谷 | 金一 |
| | 永井 | 日出男 |
| 監事 | 狩屋 | 一夫 |
| | 長村 | 秀一 |

目的

当協会は、他都市との各種大会、国民体育大会への協力、川崎市における各種のスポーツ大会の開催などの諸行事を通して、川崎市民の体育、スポーツの振興に努めます。

また、当協会は、川崎市民のスポーツの普及・振興、競技スポーツの強化およびスポーツに関する指導者・組織の育成を図ることにより、川崎市のスポーツ振興の核づくりに努め、明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的としています。

事業内容 (主要な事業)

1. スポーツ活動の普及・振興
 - ① スポーツに関する教室及び講演会の開催
 - ② スポーツに関する情報の収集、整理及び提供
 - ③ スポーツ大会の開催
 - ④ 対外競技派遣事業
 - ⑤ 川崎市が行うスポーツ事業の受託
 - ⑥ 国際スポーツ交流事業への支援
 - ⑦ 広報機関紙『スポーツかわさき』の発行
2. スポーツ指導者の育成、確保
 - ① 種目別スポーツ指導者研修会
 - ② 各種目スポーツ資格取得等の相談
 - ③ 指導者研修(国内・海外)
 - ④ リーダー研修会
3. スポーツ組織の育成
 - ① 加盟団体運営補助
 - ② スポーツ少年団運営補助
 - ③ 各種目団体指導組織の確立
4. 競技力の向上
 - ① 選手強化事業
 - ② 他都市とのスポーツ交流
 - ③ ジュニア対策事業

体育協会とは？

ごあいさつ

(財)川崎市体育協会
会長 高雲 和也



私は、この度、財団法人川崎市体育協会の会長を務めることになりました高雲でございます。

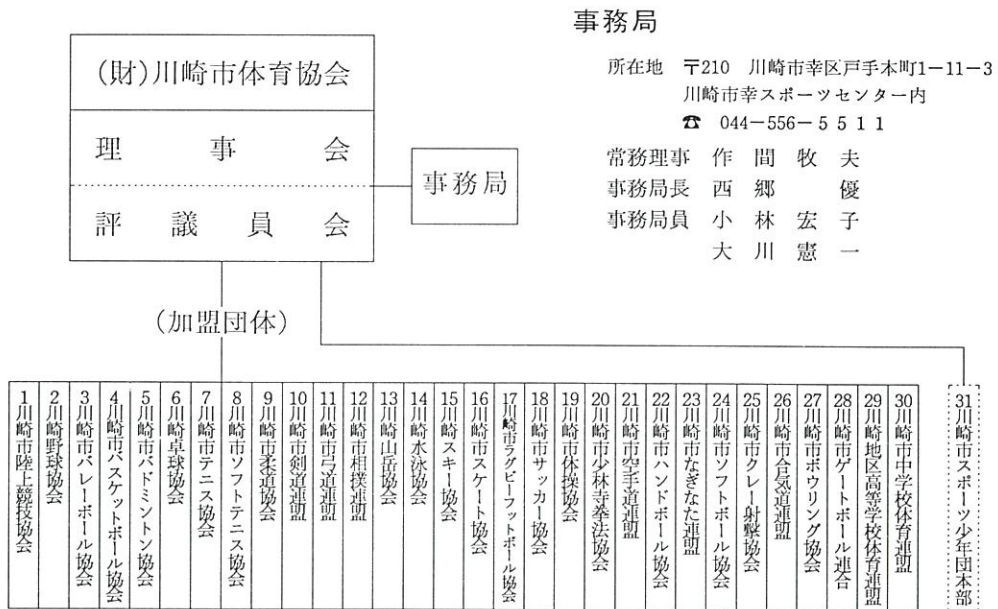
団体となり、市民スポーツ振興のための事業の充実や、選手競技力の向上、体制の強化等に努めて参ります。

そして働く市民の皆様方が明るく豊かな生活を営めるよう、市行政のスポーツ振興策と連携を図りながら活動に務めて参りたいと考えます。また、当面の課題としての神奈川県体に向けては、新生財団法人川崎市体育協会の全力を傾注して、その成功への道を拓いて行きたいと考えております。市民の皆様方の深いご理解と、温かいご支援をお願い申し上げます、ひとことご挨拶といたします。

日頃は、川崎市体育協会に何かとご支援、ご協力を頂き、また、地域のスポーツ振興にもご尽力を賜り、厚くお礼申し上げる次第でございます。

さて、皆様方ご案内の通り、川崎市体育協会は昭和23年創立以来、各スポーツ団体の統括機関として発展をして参りました。このたびここに法人格を取得して、各実共に社会的信頼と責任ある

組織・機構及び加盟団体



平成3年度 体育功績賞 11名

優秀選手賞(魚津賞)個人6、4団体に授与される

去る5月29日、川崎市教育文化会館において、平成3年度体育功績者ならびに優秀選手賞(魚津賞)の授与式が行われました。功績賞受賞者は11名、魚津賞受賞者は個人6名、4団体でした。いずれも高橋清会長(川崎市市長)から賞状賞品が直接手渡され、その功を讃えられました。

「体育功績賞」は、平成元年度に新設されたもので、川崎市体育協会加盟団体及び構成員で、スポーツの普及、振興に永年にわたって顕著な功績を残された方々に対して贈られるもので、市体協内におかれる「選考委員会」で厳正な審査のもとに決められるものです。

「魚津賞」は、かつて本市の軟式庭球協会の会長として、永年にわたり本市スポーツの発展に多大な功績を残され、昭和51年に逝去された、故魚津利氏のご芳志をもとに、毎年度、優秀な成績を残された選手・チームに対して、激励と今後の活躍を期待して表彰するものです。



高橋 清会長(市長)より体育功績賞・優秀選手賞の授与

体育功績賞受賞者(敬称略・順不同)

- 平澤 修二(73) (野球協会)
- 谷 真一(65) (バレーボール協会)
- 沼尻 眷(72) (バスケットボール協会)
- 中森 忠也(50) (ソフトテニス協会)
- 渡辺 鉄三(63) (柔道協会)
- 小林 完一(81) (剣道連盟)
- 廣井熊太郎(83) (弓道連盟)
- 宮前 稔(59) (相撲連盟)
- 中山 光直(51) (水泳協会)
- 村石 勇(60) (スキー協会)
- 森川 利昭(56) (ハンドボール協会)

- 2.佐藤 友秋(26) 水泳(NKK)
同 上 100mバタフライ優勝
- 3.山川 一彦(22) 水泳(NKK)
同 上 100m背泳優勝
- 4.岩崎 都(21) 水泳(富士通)
同 上 50m平泳ぎ優勝
および 100m平泳ぎ優勝
- 5.東海林貴弓(19) 弓道
国民体育大会石川大会 総合優勝
- 6.早川 文繪(21) 弓道
同 上 総合優勝

優秀選手(魚津賞)受賞者

○個人の部

- 1.杉沢 毅志(24) 水泳(NKK)
日本実業団水泳大会 400m自由形優勝

○団体の部

- 1.富士電機クラブ 全日本9人制バレーボール
クラブカップ女子選手権大会優勝
- 2.NKK男子水泳部 日本実業団水泳大会
男子総合優勝
- 3.富士通チーム(男子)同上 400mメドレーリレー 優勝
- 3.富士通チーム(女子)同上 200mメドレーリレー 優勝

今年も7種目で熱戦！ 友情の輪さらに広がる！

川口市都市交歓スポーツ大会

埼玉県川口市との「都市交歓スポーツ大会」が平成4年5月31日の剣道を皮切りに、川口市及び川崎市の両地で7種目の熱戦が繰り広げられ、両市の各選手の友情の輪はさらに広がりました。

今回は、剣道・陸上競技・軟式野球・テニス・弓道の5大会を中心に振り返ってみました。

○ 剣道大会 5月31日(日)

川崎市幸スポーツセンター

主催者の体育協会長 高橋市長の挨拶で始まり、演武、交歓稽古のあと、13試合が行われました。先鋒、次鋒と順調に勝ち、幸先のよいスタートを切った川崎市が7勝3敗3引分で勝ちました。

○ 陸上競技大会 6月7日(日)

川口市青木町公園陸上競技場

今年も選手は全員高校生でした、川崎市の代表として遠征するというので、緊張の中にも満足感がうかがえました。

競技は全て予選からスタートします。川口市の選手から注目を浴びているので、各選手とも全力を挙げて予選を通過しなければなりません。とてもいい経験になったのではないかと思います。

今後は、このような貴重な経験をステップとしてインターハイ出場を目指して頑張ってもらいたいと思います。

さて、成績は、1位 9人、2位 9人、3位 8人(25種目に出場)という結果でした。

○ 軟式野球大会 6月14日(日)

今年のメンバーは、東芝柳町野球部でした。平均年齢26歳という若手とベテランがかみあったチームです。

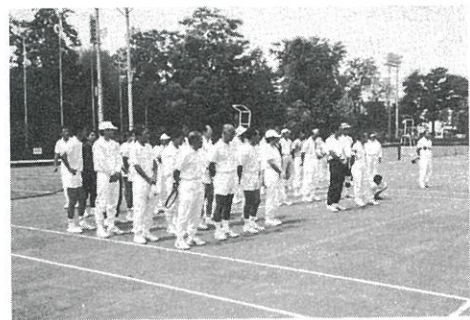
対戦結果は次のとおりでした。

| チーム名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 計 |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 川崎(東芝) | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 5 |
| 川口市役所 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | × | 6 |

○ テニス大会 6月14日(日)

川口市青木町公園テニスコート

一般男子・女子、35歳以上男子、40歳以上女子、45歳以上男子、50歳以上男子・女子、60歳以上男子の8種目で26試合の熱戦が展開されました。一般・35歳以上・40歳以上の種目では川口市が圧倒的な強さを示しましたが、45歳・50歳・60歳以上の種目では川崎市が圧勝し、トータル14対12で勝ちました。



○ 弓道大会 6月21日(日)

川口市営弓道場

出場予定者のうち7名が欠席ということで、少し寂しい大会となってしまいました。しかしながら、各選手はベストを尽くして射を狙いました。結果はわずかの差で川口市に敗れましたが、来年の大会での雪辱を期待したいと思います。

(団体)

川口市 230射 97中 42.3%

川崎市 170射 67中 39.4%

(個人)

1位～4位 川口市

5位～8位 川崎市(吉田、平郡、高中、河田)

9位 川口市 10位 川崎市(石渡)

なお、ソフトテニス(旧軟式庭球)大会は平成5年2月に開催されることになっています。

ストレッチングと スポーツの適性(1)

川崎市中原保健所長 野田 晴彦

1 スポーツの特性と適性

スポーツの「特性」とは、そのスポーツがどのような特徴を持っているか、他のスポーツとどこが異なっているかを指します。スポーツの「特性」とは、ある人がそのスポーツにどれくらい向いているか、不向きであるかの程度のことを言います。ストレッチングで見る柔軟性を取っても、各スポーツの特性によって要求される柔軟性には大きな違いがあり、時には柔軟性のあることがマイナスになることもあります。今回は、このスポーツ適性を自己評価できるユニークな本「スポーツセレクション」に載っている柔軟性（可動範囲）のテストを紹介します。

2 スポーツ適性の中の柔軟性

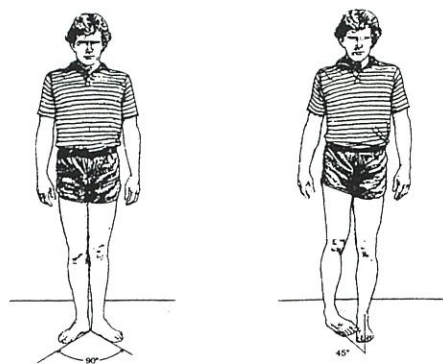
競技スポーツでは適性の余分はともかく、不足しては致命的な事はよくあります。体操・新体操やフィギアスケートなどとマラソンなどを比べてみると容易に想像が付きまします。そして柔軟性についても、いわゆる素質の部分とトレーニング（ストレッチング）によって開発可能な部分があります。この本では柔軟性が大きなウェイトを占める種目は詳しく取り上げてありませんが、取りあげた7種目では、適性を100点満点で表した時に、テニス15点、水泳10点、アルペンスキー8点、ランニング7点、サイクリング・クロスカントリースキー・ウィンドサーフィン0点が柔軟性の得点で、アルペンスキーではマイナス得点、ランニングでは致命的欠点としてのチェックもあります。パフォーマンスの視点で見れば全身持久力や筋肉・バランス感覚などの項目の方がずっと大きな要素になっているので、スポーツを楽しむ上では余り問題にはならないと思いますが、チェックされる柔軟性はまさにそのスポーツ「らしさ」を表している内容だと感じます。

3 適性テストの内容

1) テニス：テニスでは腰の内転・外転（各4点）と肩（7点）がチェックされます。肩はラケットを持つ利き手だけというのも当然ですが、合理的な考えかたです。

・腰の外転は、素足でカカトを合わせてまっすぐに立ち、爪先を開いて90度以上になるかどうかを見ます。クラシックバレエでは180度開くことが必要です。（図1）

(図1) 腰の外転 (図2) 腰の内転 (右)



・腰の内転は、爪先をまっすぐ前に向けて片足で立ち、他方の足を少し浮かせて腰を動かさずに爪先を内側へ回して、45度以上いくかどうかを見ます。両足ともできてOKです（図2）

2) 水泳：肩（5点）と足首（5点）がチェックされます。どちらも水泳の動作に基づいた方法で説得力のある項目です。

・肩は全身を伸ばしてうつぶせになり、両手を頭上に伸ばして肩幅の棒を握り、胸を下に着けたままどれくらいの高さまで棒を地面と平行に上げられるかを測ります（図4）。

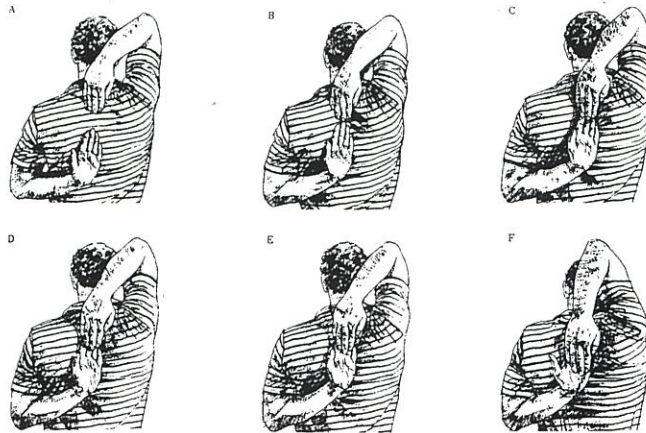
・足首は仰向けに両手足を伸ばして横たわり、足の爪先を伸ばして床に近づけるようにして、床との距離を測ります（図5）。右足となっていますが、両足の平均値か、劣る方の足を評価に用いてもよいと考えます。

ソウルオリンピック100m背泳ぎ金メダルの鈴木大地選手は、この足首のテストでは親指がそのまま床に着いてしまいました(0cm)。これは本人の努力の結果ではなく、物心ついた時にはできるようになっていたということです。正確に言えば赤ん坊の時にも誰もがそれくらいの柔軟性があるので、物心ついた頃にもまだできていたというのかもしれませんが、柔軟性を維持するための努力にも相当の個人差を認めざるを得ません。(スポーツ適性については次回に続きます。)

(図3) 肩の可動範囲 (右)

肩の可動範囲 (右)

| 両指先の位置 | | 得点 |
|--------|--------------|----|
| A | 5cm以内の離れ | 2 |
| B | 接触する | 3 |
| C | 1関節重なる | 4 |
| D | 2関節重なる | 5 |
| E | 指全体が重なる | 6 |
| F | 指先が他方の手の平に届く | 7 |

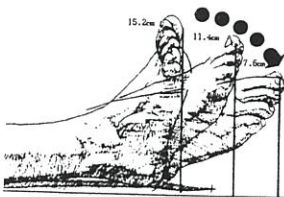


(図4) 肩の可動範囲 (水泳)



| 測定値(cm) | | 得点 |
|---------|------|----|
| 男子 | 女子 | |
| 55.9 | 48.3 | 5 |
| 45.7 | 40.6 | 4 |
| 35.6 | 33.0 | 3 |
| 25.4 | 22.9 | 2 |
| 15.2 | 10.2 | 1 |

(図5) 足首の可動範囲



| 測定値(cm) | | 得点 |
|---------|------|----|
| 男子 | 女子 | |
| 6.4 | 3.8 | 5 |
| 7.6 | 5.1 | 5 |
| 8.9 | 6.4 | 4 |
| 10.2 | 7.6 | 3 |
| 11.4 | 8.9 | 2 |
| 12.7 | 10.2 | 2 |
| 14.0 | 11.4 | 1 |
| 15.2 | 12.7 | 1 |

ストレッチングの参考書 (毎回紹介します)

「スポーツセレクション」

R. アーノット、C. ゲインズ著

中俣真知子訳、小野三嗣監修

1985 (株)タッチダウン ¥2800

日本の体力テストのイメージとは大きく異なるアメリカ的・合理的精神で書かれ、適切な訳語がないので何度も読み返さないと理解しづらい箇所もあるが、競技の本質に肉薄した完成度の高い本であり、随所に他のスポーツや日常の健康づくりにも活かせるようなヒントが盛り込まれている。

タレントテストのみに利用するのではなく、このように論理的・実質的な身体適性の評価方法を学んで欲しい。

第21回関東地区ろうあ者体育大会川崎市で開催 ＝選手・ボランティアが一体となって熱戦を展開＝

8月1日(土)から2日(日)にかけて川崎市で第21回関東地区ろうあ者体育大会が開催されました。

この大会は、「関東地区に居住する聴覚障害者が相集い、スポーツを通じて聴覚障害者の体位向上を図り、明朗快活にして協調しあう精神を養うことに努めると共に社会人としての形成に寄与する」ことを目的に開催され、現在9種目の競技が行われています。

開会式は、選手・役員など約900人が参加して川崎市体育館で行われました。

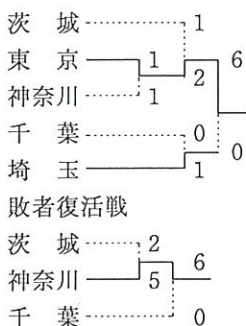
来賓の挨拶のなかで、高橋清川崎市長が手話で挨拶をされ、参加者全員から盛んな拍手を受けていたことが印象的でした。

卓球競技

- | | |
|----------------|-----------|
| ☆男子団体戦 | ☆女子団体戦 |
| 優勝 東京Aチーム | 優勝 東京Bチーム |
| 2位 埼玉Aチーム | 2位 神奈川チーム |
| 3位 千葉チーム | 3位 千葉チーム |
| ☆男子ダブルス戦 | |
| 優勝 吉田・青山組(東京) | |
| 2位 旅川・渡部組(埼玉) | |
| 3位 沢木・田中組(東京) | |
| ☆女子ダブルス戦 | |
| 優勝 磯部・吉田組(東京) | |
| 2位 西浜・草間組(神奈川) | |
| 3位 岩田・小林組(埼玉) | |

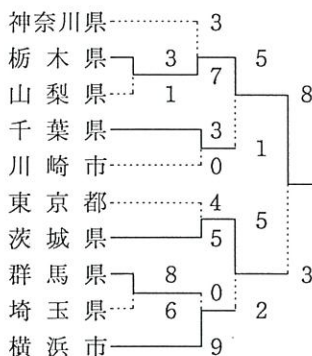
サッカー競技

- 優勝 東京
2位 埼玉
3位 神奈川



野球競技

- 優勝 栃木
2位 茨城

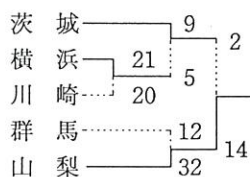


陸上競技(団体総合)

- 優勝 東京(146点)
準優勝 群馬(143点)
3位 埼玉(83点)

ソフトボール競技

- 優勝 山梨
2位 茨城



バレーボール競技

☆男子の部

- 優勝 東京(2勝0敗)
2位 栃木(1勝1敗)
3位 茨城(0勝2敗)

☆女子の部

- 優勝 千葉(2勝0敗)
2位 東京(1勝1敗)
3位 横浜(0勝2敗)

テニス競技

☆男子ダブルス戦

- 優勝 阿部・川上組(東京)
2位 梶山・田中組(東京)
3位 武田・隅川組(神奈川)

☆女子シングルス戦

- 優勝 関根 栄美子(横浜)
2位 有川 真理子(東京)
3位 渡辺 朱美(横浜)

ゲートボール競技

- 優勝 栃木
2位 東京
3位 群馬(A2)

ボーリング競技

- | | | |
|-----|-----|----|
| 団体戦 | 男子 | 女子 |
| 優勝 | 東京A | 東京 |
| 2位 | 横浜A | 山梨 |
| 3位 | 埼玉A | 横浜 |

***** 第43回県総体 夏季大会(水泳)男女総合優勝 *****

長野・野辺山ハイランドスキー場で冬季県総体が開催され、距離競技・成年の部で、川崎市は1位(高橋清光 7'50"3)、2位(伊藤竜雄 8'04"5)を独占し、また大回転競技・成年の部で2位(佐藤寿夫 34"25)と健闘したが総合では昨季と同じ4位に終わった。

夏季大会は、水泳で男女共総合優勝(5連覇)ソフトボールは、準々決勝で敗退。ソフトテニス(旧軟式庭球)は、2回で敗退した。

今後催される秋季大会に期待し、ぜひとも総合で2連覇を達成させたいものである。



第43回県総体(秋季大会)日程及び会場一覧

| | 競技名 | 第 1 日 | | 第 2 日 | |
|--------|----------------|----------|---|----------|---|
| | | 期 日 | 会 場 | 期 日 | 会 場 |
| 秋 季 | 陸上競技 | | | 9月20日(日) | 県立体育センター (一般・青年) |
| | バレーボール 競 技 | 9月13日(日) | 藤沢市秋葉台文化体育 館(一般男子) 県立体育センター (一般女子) | 9月20日(日) | 県立体育センター (一般男子・女子) 県立県央地区体育セン ター(青年男子) 県立西湘地区体育セン ター(青年女子) |
| | 軟式野球競技 | 9月13日(日) | 県立相模原球場 大和市引地台野球場 茅ヶ崎市営球場 厚木市玉川球場 座間市市民球場 | 9月20日(日) | 県立相模原球場 茅ヶ崎市営球場 (第1日雨天順延の場 合は第1日会場) |
| | サッカー競技 | 9月13日(日) | 県立体育センター 藤沢市秋葉台公園 球技場 | 9月20日(日) | 県立体育センター |
| 大 会 | 卓球競技 | | | 9月20日(日) | 藤沢市秩父宮記念 体育館(一般・青年) |
| | バスケット ボール競技 | 9月13日(日) | 平塚市見附台体育館 (一般) 海老名市総合体育館 (青年) | 9月20日(日) | 平塚市見附台体育館 (一般・青年) |
| | 柔道競技 | | | 9月20日(日) | 県立武道館 (一般・青年) |
| | 剣道競技 | | | 9月20日(日) | 県立武道館 (一般・青年) |
| | 弓道競技 | | | 9月20日(日) | 県立武道館 (一般・青年) |
| | バドミントン 競 技 | 9月13日(日) | 相模原市北総合体育館 (一般) | 9月20日(日) | 相模原市北総合体育館 (一般・青年) |
| | クレー射撃 競 技 | 9月13日(日) | 県立伊勢原射撃場 | | |
| | | | | | |

春季市民体育大会・ 市制記念体育大会

延べ18種目競技
各地で熱戦・善戦
さわやかな汗流す
登山は南ア北岳へ初挑戦!

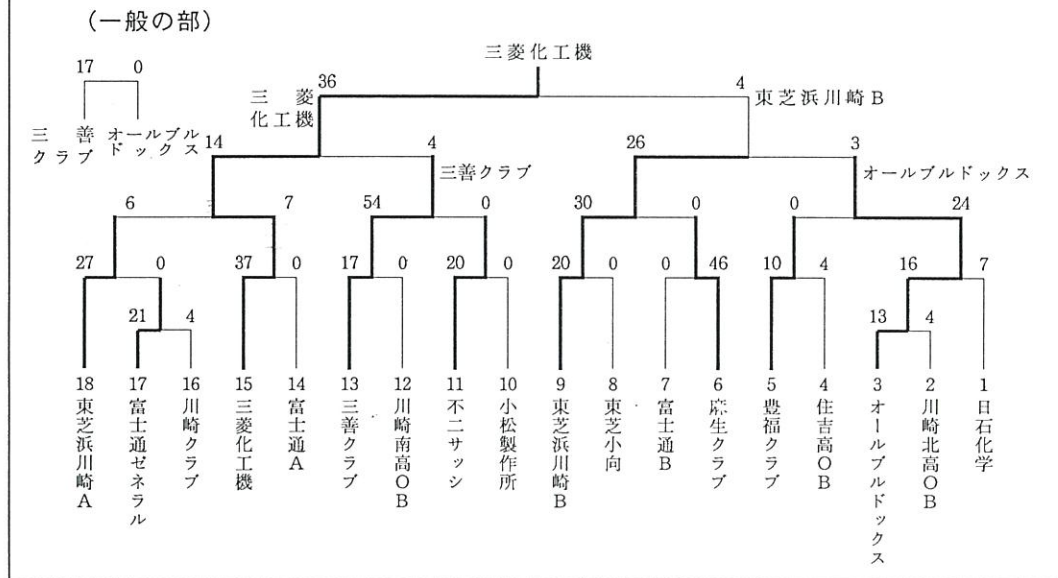
川崎市民アスチス登山 大樽沢にて 平成4年6月3日



川崎市体育協会では、毎年度春季ならびに秋季に「市民体育大会」また、川崎市の市制記念日である7月1日をはさんでは、市制記念体育大会を開催して、市民スポーツの振興ならびに競技力の向上を図っていますが、本年もまたそれらの大会が盛大に市内各地の競技場・体育館等で行われました。各会場とも爽やかな汗と熱気に包まれ、素晴らしい善戦が展開されました。その中から幾つかの記録を拾ってみました。

春季市民ラグビー大会（5月10日～7月5日） 会場 等々力ラグビー場・桐光学園・向の岡工高
 一般の部 優勝 三菱化工機 準優勝 東芝浜川崎B 3位 三菱クラブ
 高校の部 優勝 生田高校 準優勝 法政二高 3位 住吉高校

1992年度春季市民ラグビー大会



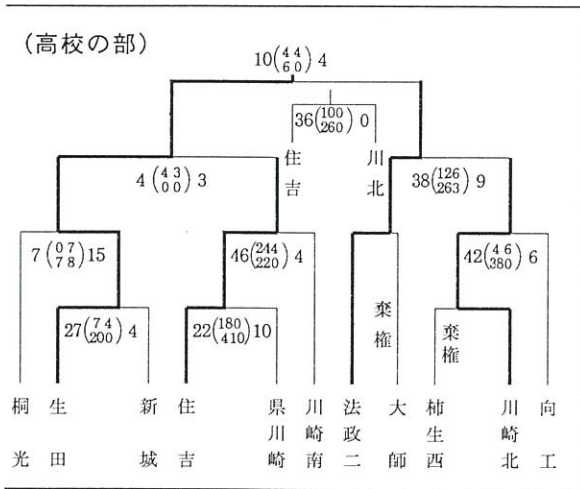
春季市民体操競技大会（5月24日） 会場 川崎市体育館

- ◆中学校男子団体総合
1位 東橘A（合計得点68.05） 2位 有馬A（62.00） 3位 有馬B（58.20）
- ◆中学校男子個人総合

- 1位 渋谷 清人(東橋) 2位 秋山 賢司(東橋) 3位 丸山 健太(向丘)
- ◆中学校女子団体総合
 - 1位 宮前平(合計得点64.50) 2位 長沢A(57.30) 3位 御幸(50.65)
 - ◆中学校女子個人総合
 - 1位 小沢 優子(宮前平) 2位 佐伯 理恵(宮前平) 3位 佐伯 真美(宮前平)
 - ◆高校男子個人総合
 - 1位 斉藤 親介(多摩)
 - ◆高校女子団体総合
 - 1位 多摩A(合計得点70.20) 2位 多摩B(68.70) 3位 大師(65.25)
 - ◆高校女子個人総合
 - 1位 花摘 さやか(多摩) 2位 宮本 奈緒(多摩)・高村 朋子(大師)
- 一般男子個人総合
1位 嶋田 和明(臨港中教員)

春季サッカー大会(4月5日～6月21日) 会場 上平間・古市場・等々力サッカー場
 決勝戦 皇岳クラブ 4-0 東芝小向 三位決定戦 FC昭特 3-2 飛鳥FC

男子市民ソフトボール大会(7月19日～8月2日) 会場 等々力河川敷グラウンド
 準決勝 スリーハンズ 14-9 キングス 神地SC 12-7 等々力フェニックス
 決勝戦 スリーハンズ 21-12 神地SC



- 春季一般男女6人制バレーボール大会(3月15日) 会場 橋高校・市立川崎高校体育館
- ◆男子一部
 - 1位 川崎ベアーズBチーム(橋高OB) 2位 川崎ベアーズAチーム(橋高OB)
 - 3位 輝南クラブ・生田東クラブ
 - ◆男子2部
 - 1位 奔流道クラブ 2位 帝人クラブ 3位 キョンキョンズα・キョンキョンズβ
 - ◆女子の部
 - 1位 橋クラブ(橋高OG) (上部写真) 2位 東レクラブA 3位 商友会・東レクラブB

市民登山

5月22日～24日 尾瀬・至仏山 130名参加 8月1日～3日 北岳 45名参加

川崎市テニス協会

川崎室内テニス選手権 大会に中野杯を設定

'92中野杯川崎室内テニス選手権大会終わる

川崎市テニス協会は、協会の設立以来、会長の任に当たられ、川崎市テニス協会の基盤作りと発展に貢献なされ、昨3年10月に亡くなられた同協会元会長、中野一雄氏の功績を讃えて、このほど新設された川崎室内テニス選手権大会に「中野杯」の各称を冠することとなり、その第1回大会がこの春行われました。

中野一雄氏は、本誌第29号でもご紹介した通り川崎市テニス界のみならず、日本テニス協会・関東テニス協会・神奈川県テニス協会の発展に寄与され、昭和59年、勲五等双光旭日賞を褒授されたほか、昭和62年、川崎市文化賞を授与されるなど川崎市体育界の重鎮として数々の功績をも残され



た方です。

その'92中野杯川崎室内テニス選手権大会が去る3月28・29の両日 川崎市体育館で行われ、次の方々が優勝ならびに準優勝されました。

優勝

男子シングルス 田淵健次郎(タチバナTC)
女子シングルス 石沢美智子(夢見ヶ崎ローンTC)
男子ダブルス 奥山・飯岡組(京浜TC)
女子ダブルス 矢川・相田組(同上)

準優勝

男子シングルス 皆川俊也(夢見ヶ崎ローンTC)
女子シングルス 本田真美(同上)
男子ダブルス 国広・平野組(京浜TC・CA武蔵小杉)
女子ダブルス 石沢・池田組(夢見ヶ崎ローンTC)

第2回市国体準備委員会総会開かれる

昨年の第53回国民体育大会川崎市準備委員会設立総会(平成3年10月19日開催)に引き続き、第2回準備委員会が平成4年8月21日に市内高津区の「かながわサイエンス・パーク」(ホテルKSP)で141名の委員の出席を得て開催されました。

はじめの挨拶の中で、会長の高橋清川崎市長は、「都市化、高度情報化の進む中で川崎市民の中の一部には体を動かすことが少なくなり、加えて高



挨拶をする高橋清会長

齢化が進み、健康の問題が必ずしも良好な方向に進んでいるとは言えぬ方が見られます。心身両面にわたって健康で、スポーツをしなから快適な生活を送れるようにならなければいけません。今市では21世紀に向けて、5つの都市像を考え、その一つとして「豊かさの実感できる活気とゆとりのある生活を目指し、スポーツを愛好し健康で暮らせる街造り」を掲げています。国体もまたこの一環と把らえ、準備を進めて行きたいと考えます。その準備としてまず総合体育館を等々力に、6500人が入れる大きな本館にサブアリーナも付属させて造ります。この9月議会で予算を上程し、市議会の協力も得たいと思っています。もちろん国体前、またその後もおおいに市民のみなさんに利用していただきます。その他の施設についても着々と準備し、充実させて行きます。」など「健康都市川崎」の街づくりへの抱負が語られました。

続いて、高橋会長の議長で所定の議事が進行され、議案7件とも満場の拍手で承認されました。いずれも市国体準備室長の永井日出男体育振興課長の簡明な報告提案によりましたが、主なものは、前年度の事業報告・同会計決算本年度の事業計画・同会計予算、とりわけ総務、広報・市民運動、施設の三専門委員会が設置され、具体的な活動を始めるということなどでした。

姉妹都市ボルチモア市とサッカーで交流

川崎市は、姉妹都市青少年交流事業の一環として、今年度は中学生男子サッカーチームをボルチモア市に派遣しました。一行は市内33校の中から選抜された15名の選手と5名の役員でした。以下は早野コーチからの報告です。

7月27日11時に成田を出発。13時間の長旅で同日（日付変更線を経過するため同日）にワシントンに着く。昼食後、姉妹都市であるボルチモア市へ専用バスで向かいました。

第一試合（7月28日）

午前中、市長表敬訪問と市内見学を済ませ、午後試合会場であるジョンズ・ポプキンス大のグラウンドに着く。ボルチモア側との話し合いで40分ハーフで行なうことになりました。

インドア用のルールで行なわれたので、ラインズマン無し・身体接触は許されない。試合途中の交替あり・再出場可能など、アイスホッケーとバスケットボールを混ぜたようなルールになりました。しかし、選手はとまどいを見せながらもなんとか試合をこなすことができましたが1対3で敗れてしまいました。

第二試合（7月29日）

会場であるポーリ工業高校のグラウンドは等々力緑地の半分程はあり、日本では考えもつかない大きさでした。深い天然芝のグラウンドで、芝生での経験のない選手達にとって相当のハンディキャップだったでしょう。

試合は3対5で敗れてしまいました。

第三試合（7月31日）

ボルチモア市の総合運動場（芝の状態は最高）で行なう予定でしたが雨天のためインドアに変更になり残念でした。インドアでの試合のとまどいのため試合は4対6で敗れました。

第四試合（8月1日）

第三試合と同じ会場で行なわれました。ルールにも慣れ選手の頑張りもあって6対1で最終戦を勝つことができました。

姉妹都市青少年交流派遣団員

団長 近藤 哲夫（教育委員会）
監督 望月 宗雄（向丘中学校長）
引率 吉田 武（指導主事）
コーチ 高井 明（宮前平中学校 教諭）
コーチ 早野 伸二（有馬中学校 教諭）

選手 GK 吉田 尚人（南菅中学校 2年）
DF 石塚 健（向丘中学校 2年）
DF 板垣 望（宮前平中学校 2年）
DF 松本 真吾（塚越中学校 2年）
DF 登坂 太郎（西生田中学校 2年）
MF 武田 英夫（長沢中学校 2年）
MF 近藤 圭一郎（王禅寺中学校 2年）
FW 白澤 光輝（今井中学校 2年）
FW 北野 義仁（有馬中学校 2年）
FW 斉藤 正樹（御幸中学校 2年）
MF 杉田 勝則（南加瀬中学校 2年）
MF 高橋 守（大師中学校 2年）
FW 塚田 慶太（平間中学校 2年）
GK 林 学（住吉中学校 2年）
GK 和久 直紀（橘中学校 2年）

ボルチモア市は充実したスポーツ施設もさることながらスポーツを親しむ人達を多く見かけました。

又、水もきれいなので数多くのホテルが飛びかう美しい自然にも触れられる町でした。来年は川崎にボルチモアサッカーチームが来られます。それまで一層の技術とマナーを身につけさせたいと思います。



既刊の当協会機関誌「スポーツかわさき」の表紙から



体協事務局ご紹介



写真左から大川憲一職員、作間牧夫常務理事、西郷優事務局長、小林宏子職員のみなさん。
市立幸スポーツセンター内の一室に「(財)川崎市体育協会」の看板を掲げ張り切っております。

交通のご案内

TEL 044-556-5511(直通)

(交通)

- バス(JR川崎駅東口から)
川71 小杉行 幸区役所入口
川54 日吉行 下車 徒歩3分
- バス(小杉駅から)
川71 川崎行
幸区役所下車 徒歩3分
- 南武線(矢向駅から)
徒歩15分



編集後記

◆体育協会法人化の動きのために発行がだいぶ遅れました。編集のメンバーも若干変わり、新たな気分でもた動き始めました。こんごともよろしく。
◆法人化記念特集号ということで、ちょっと紙面が固くなりました。次号からは、もっと遊びスペースの多い、見て楽しい編集にするつもりです(S)

スポーツかわさき第30号 平成4年9月15日

— 発行所 —

〒210 川崎市幸区戸手本町1-11-3
川崎市幸スポーツセンター内

(財)川崎市体育協会 (電話044-556-5511)

編集 広報委員会

委員長 左澤 重明(山岳協会)

副委員長 古谷 保(卓球協会)

委員 桜井 定吉(相撲協会)

〃 皆川 敏明(陸上協会)

〃 谷口 浩(サッカー協会)

〃 野口 始男(ハンドボール協会)

〃 小坂 末吉(バスケットボール協会)

印刷 〒210 川崎市川崎区榎町3-9

(株)第一サンエー (電話 222-2356)